



田口トツタニ遺跡

墓番号	規模 (cm)	平面形	蔵骨器	石塔	備考
1号墓	62×60	円形	土師器鍋	地輪	
2号墓		円形			
3号墓		不明	備前焼壺		
4号墓		不明	なし		直葬
5号墓	64×92	方形			
6号墓	最大96	不明	土師器鍋		
7号墓	65×82	方形	須恵器壺		
8号墓		方形		相輪五輪塔	
9号墓	110×150	方形	備前焼壺 丹波焼壺	火輪	壺4個以上
10号墓	80×105	方形			一部未調査
11号墓	45×90	方形		地輪水輪	切り合い
12号墓	80×85	方形		火輪	未調査
13号墓		方形		火風空輪	未調査
14号墓		方形		火風空輪	未調査



遺跡からみた金剛城寺

田口トツタニ遺跡周辺は「播磨国風土記」の奈具佐山の故地と考えられています。対岸に所在する金剛城寺ならびに前身の作門寺や七種寺とは緊密な関係にある中世墓と思われる。山麓には巡礼道が通っており信仰の場となっていたことは明らかです。

今回の調査区は山腹の僅かな平坦面に築かれています。尾根上部や南側にも平坦面が見られます。尾根上の道沿いには社や祠が点在しています。南側には現代の墓地も見られます。現在でも信仰の場となっており、遺跡は周辺に広がっていると思われます。



田口トツタニ遺跡は福崎町田口字トツタニに所在する遺跡で、暴風雨の倒木に伴う植林事業によって備前焼壺が出土したことから、平成30年1月に調査が行われました。石組を伴う中世墓が14基以上確認されました。

すべて火葬骨を葬る墓で、上に五輪塔や宝篋印塔を建てていたと思われる。鉄釘が西端から出土していますので、上の平坦面などに火葬場もあったと思われる。



作門寺山門

ふくさき再発見シリーズ⑤

田口トツタニ遺跡

編集発行：福崎町教育委員会

〒679-2280 兵庫県神崎郡福崎町南田原 3116-1

TEL：0790-22-0560

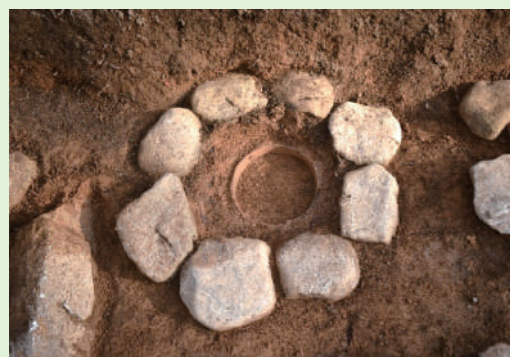
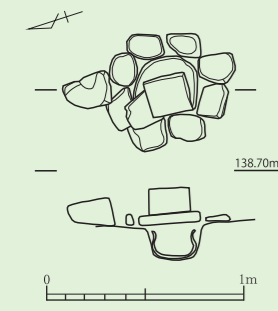
E-Mail：syakai@town.fukusaki.lg.jp



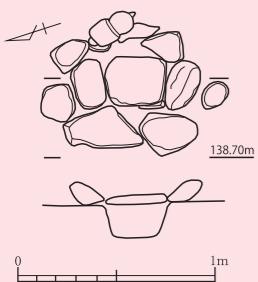
福崎町全図

墓は地元石材で石組を作っています。区画墓で血縁関係など親縁性の高い墓群と思われます。切り合い関係がほとんどありませんので、継続して前の墓を意識して構築していったと思われます。9号墓のように大きな区画の中に複数の蔵骨器を埋葬している墓はなおさら家族墓の可能性が高いと思われます。蔵骨容器には備前焼・丹波焼・東播磨系須恵器・土師器の4種があり、直葬もあるので5種類の埋葬形態があります。石造物はやや質の悪い高室石が使われており、加西市から運ばれたものです。14世紀前半を中心とする中世墓です。

1号墓

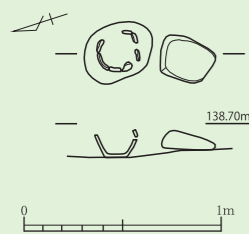


2号墓

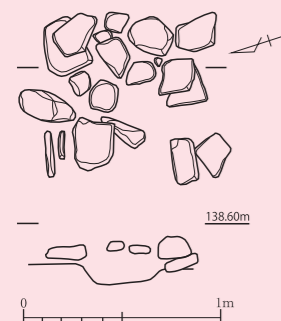


遠景

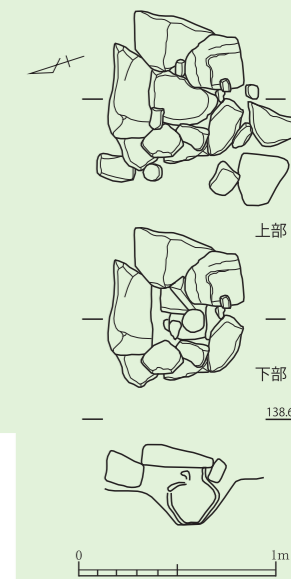
3号墓



4号墓



7号墓



9号墓



遺構上部



遺構下部



備前焼壺

